

はしもと修一通信 しゅういち

町政・議会報告

ぬくもりのある“幸福社会 さむかわ” の実現を目指して!

町民の皆様こんにちは。常日頃より心温まるご指導・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今年には議員として2年目を迎えます。昨年は一般質問や委員会活動をはじめ、あらゆる機会に町民の皆様の声を議会や行政に届けてまいりました。また、私達に直接関わってくる人権問題についても強く訴えさせていただきました。コロナ禍により、議員活動の制約はありますが、現場主義を原点とし、未来を見据えた情報発信を心がけ、町民の皆様の幸福の実現に繋がる政策提言をしまいたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

寒川町議会議員 **はしもと 修一**



〈施設の視察〉文教福祉常任委員会でスポーツ施設「THE PARK SAMUKAWA」の現地踏査を行いました。

（歩道の改修）障がい者、ベビーカー等の移動のためのバリアフリー化が不十分とご指摘がありました。担当課に相談し改修してもらいました。



〈道路表示の補修〉踏切前の白線が薄いとご指摘があり、担当課に相談し補修してもらいました。



〈看板の設置〉左：バイクや自転車の交通量が多く歩行者と接触する危険がある。右：車がスピードを下げずに通るため危険。といったご意見をいただいたので、担当課に相談し看板を設置してもらいました。

活動報告



〈さつまいも掘り〉青少年指導員として、さつまいも掘りのお手伝いをしました。



〈成人式〉青少年指導員として、寒川町成人式の準備・運営のお手伝いをしました。



〈歩道の修繕〉通学時に子供が足を取られる危険性があるとご指摘があり、担当課にすぐに修繕してもらいました。



〈草刈り〉側溝内の草刈りのご要望があり、担当課に相談し対応してもらいました。



〈草刈り〉用水路内の草刈りのご要望があり、担当課に相談し対応してもらいました。

はしもと修一 〈プロフィール〉

寒川町議会議員〈会派に所属しない議員〉／幸福実現党 寒川地区代表／文教福祉常任委員会副委員長／建設経済常任委員会委員／東海道新幹線新駅特別委員会委員／青少年問題協議会委員／青少年指導員／視覚障がい者へのボランティア活動／不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員／一般財団法人「いじめから子供を守ろうネットワーク」相談員／一般社団法人「ユー・アー・エンゼル（障がい児支援活動）」相談員／介護福祉士／ケアマネージャー／湘風園養護老人ホーム勤務／元進学塾室長
好きな言葉：「われ以外みなわが師」「凡事徹底」／モットー：「現場主義」「心に寄り添う政治」

ブログ、Facebook、Twitter →



お知らせ

①寒川町でセミナー開催を予定!

日時：本年5月7日（土）13:00～15:00
会場：寒川町内施設にて調整中
登壇予定者：釈量子 幸福実現党 党首
いき愛子 同 神奈川県統括支部代表
はしもと修一 寒川町議会議員

はしもと修一
後援会の
催しです!

②署名活動にご協力ください!

「中国共産党の人権弾圧行為をやめさせ、台湾と沖縄の防衛強化を求める署名」QRコードまたは党ホームページより署名用紙が入手できます。あるいは、ご連絡をいただければお送りします。ご記入後、本年4月20日までに下記へお送りください。内閣総理大臣へ提出いたします。



幸福実現党「言論チャンネル」



いったい何が正しいのか。次々と人類を襲う危機と、混迷を極める世界情勢の中で、幸福実現党は価値判断の指針となるオピニオンを発信し続けています。



言論チャンネル 検索

ご連絡・お問い合わせ TEL:080-7059-2541 E-mail:love.samukawa@gmail.com

一般質問

「心に寄り添うまちづくりを目指して」

令和3年12月会議において、公約であった「2025年問題」への取り組みに向けて、「地域包括ケアシステム」をはじめ、「高齢者ケアの中・長期的な課題と対策について」町の考え方を問いました。

内閣府の『令和2年版高齢社会白書』では、国全体における2025年の75歳以上の人口は、約5人に1人を占めるとしています。寒川町においては、平成31年の住民基本台帳を基にした試算では、2025年の65歳以上の人口は約3人に1人となります。

政府は少子高齢化や核家族化を背景とした、高齢者、要支援・要介護者の増加に伴う社会保障費の増加と、病院や施設、職員数の不足による現場の混雑を推測しています。

こうした状況の中、高齢者の生活について、尊厳の保持と自立生活の支援の重要性が増大しており、介護認定がされても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体で提供できる体制を整えることが望まれます。町役場では推進の責務があるため、一般質問を通して具体的に説明を求めました。



12月の会議にて一般質問に立つ橋本。

●一般質問の詳細は動画をぜひご視聴ください。

寒川町議会 [検索] ⇒ 寒川町議会 ⇒ インターネット中継 ⇒ 議員一覧から選ぶ ⇒ 橋本修一
<https://samukawa-town.stream.jfit.co.jp/>



一般質問

「2025年問題に向け、地域包括ケアシステムの整備を」

12月会議、橋本による一般質問の一部。[Q] 橋本からの質問 [A] 町側の回答

- [Q1] 木村町長に、高齢者施策に対する町の考えを伺います。
[A1] すべての高齢者が生きがいに満ちて暮らし続けるためには、公的な制度やサービスのみで支えることは難しく、「地域共生社会」を実現していくことが必要です。地域包括ケアシステムの充実や、健康保持・介護予防の推進、また、高齢者が「支える側」となって社会参加し、能力を発揮するような仕組み作りも課題ととらえております。支援を必要とする住民に対して早期発見・早期対応の体制を進め、課題に対してきめ細かく対応するために、医療、介護、予防及び、高齢者の自立した日常生活の支援の充実を図ってまいります。
- [Q2] 町民と訪問医との関わり大切さについて町の見解は。
[A2] 茅ヶ崎市と在宅医療介護連携推進事業の協同実施に関する協定を締結。住民向け研修会を実施。在宅医療の実例や意思伝達の必要性などを講義。
- [Q3] 在宅療養支援診療所の体制や整備について問う。
[A3] 町内には、在宅療養支援診療所が3カ所、強化型在宅療養支援診療所が1カ所、強化型在宅療養支援病院が1カ所あります。茅ヶ崎・寒川圏域におきましては、合計でそれぞれ24カ所、13カ所、2カ所あります。
- [Q4] 寒川町の特別養護老人ホーム（以下特養）及び老人保健施設（以下老健）の待機人数の状況は。
[A4] 特養は令和3年4月1日で65名。老健は在宅復帰、在宅療養支援のため、待機者はいません。
- [Q5] 介護難民の具体的対策について町の取り組みは。
[A5] 経済的に困窮しているケースにつきましては、社会福祉協議会の貸付制度や保健福祉事務所などに繋げ、適切な介護が受けられない等の介護サービスに関する相談は、地域包括支援センターが受け付け、適切な制度・サービスに繋げております。

委員会

政策提言 — 高齢者に向けての有効な伝達手段の取り組み

文教福祉常任委員会《副委員長として所属》で令和3年12月に木村町長に政策提言書を提出しました。コロナ禍でみえた情報伝達の課題に対して、高齢者や独居者などを孤立させず、すべての町民に情報が行き届くための有効な伝達手段の施策について、議員間討議で検討してまいりました。その中で、寒川町社会福祉協議会の方々とも意見交換の機会を設け、現場の声を聴かせていただきました。



大河ドラマ『鎌倉殿の13人』、寒川をPR



大河ドラマ、『鎌倉殿の13人』が始まっています。建設経済常任委員会《所属委員》で寒川町観光協会と意見交換をしました。協会は梶原景時公にスポットをあてた町の観光PRの企画を検討されています。私も公約の地域振興政策として「梶原景時祭」、寒川町の「お土産パック」など、全国から寒川町に来ていただけるよう、提案をさせていただきました。この梶原景時と右の「寒川の歴史」で取り上げた梶原性全。果たして関係ありや否や……。



人権シンポジウム「ウイグルジェノサイドの実態」を開催（藤沢ミナパーク）。日本ウイグル連盟代表トゥール・ムハメット氏（中央）。



中国共産党の人権弾圧行為をやめさせ、台湾と沖縄の防衛強化を求める署名活動。



「日台交流サミット in 神戸」に参加。神戸宣言を採択。



台北駐日経済文化代表處横濱分處に表敬訪問。張淑玲處長ほか3名と意見交換。幸福実現党は日台友好議員連盟を立ち上げ、日台親善友好の促進、国交回復に向けた活動を進めてまいります。

中国共産党による ジェノサイド（民族大量虐殺）を 許してはいけません！

中国共産党による、新疆ウイグル自治区、チベット自治区といった少数民族に対する人権侵害行為や、香港における民主運動家への弾圧行為に対して、国内外から非難の声が高まっている。
日本の政府・国会はこれまで対中非難決議を見送ってきたが、地方議会から毅然とした対応を求める意見書の採択が相次ぎ、徐々に世論も形成されつつある中、ようやく国会決議に向けての動きが見え

てきている（1月時点）。
これまで人権問題に真摯に取り組んできた寒川町議会も、国際法に基づき基本的人権を尊重し、自由や民主主義という国際社会における普遍的価値が確実に保証されるよう、衆議院議長、内閣総理大臣や主要閣僚に求める意見書の提出を、令和3年9月会議において全会一致で採択し、特にウイグル人弾圧について調査を実施するよう求めている。また、中国共産党は台湾に

対しても軍事行動を加速させており、台湾が香港と同じ道を辿らなければならないためにも政府や国会は、親目である台湾との国交回復と同盟関係樹立を目指し、アメリカ、イギリス、カナダ、EU、オーストラリアなどをはじめとした、自由・民主・信仰などの価値観を共有できる国々として正しい、アジアの雄として正しい価値判断に基づいた施策に取り組んでいただきたい。

裏面で、中国の人権弾圧をやめさせ、台湾と沖縄の防衛強化を求める署名活動についてお知らせしています。

鎌倉時代の名僧医、 梶原性全は寒川出身か？



鎌倉時代の名僧医に梶原性全という人物がいる。日本初の仮名交じりの医学書である『頓医抄』を記したことで知られる。唐宋の医学書を学び、自説を加え記された、当時の最高水準の医学書だ。性全は、極楽寺の忍性などの社会救済事業家に感銘を受け、衆人にも読みやすいように仮名交じり文にしたとされる。



鎌倉の極楽寺。梶原性全はこの近くの桑ヶ谷診療所で忍性らと社会救済事業にあたりたとされる。

梶原性全の出自は、梶原氏または和氣氏の流れとされ、実は寒川の岡田か一之宮あたりの生まれでないかとされる説が伝わっている（*1）。しかし、性全の出自に関する資料がなく、明らかになっていない。
また性全の医学は、仏教的な仁慈の精神が深く織り込まれており、瘡の原因として鬼神などの霊的要因、医療における仏や諸天善神の守護も認めている。そんな性全の『頓医抄』には、医療倫理の心がけとして次のような言葉を残した。

「慈悲の心で以て医療を行えば、例え拙くとも効果はあるだろう。しかし、欲心と道義に反する思いで行えば、例え万巻の書に通じ、最高の妙薬を施したとしても、効果のないことだ（*2）。」
コロナ禍の今だからこそ、大切にしたい鎌倉時代の名僧医の言葉だ。

（*1）寒川町郷土研究会「寒川その昔を語る」第4集
（*2）『頓医抄』46巻「医師要心」